学術セミナー

1日目　11月26日（木）　12：40〜13：30

学術セミナー1　第1会場　シーガイアコンベンションセンター　4F　天瑞

腸内環境を「ひなた」へ導く ―周術期管理と腸内細菌叢のインパクト

座長：森　　正樹（東海大学）

演者：遠藤　　格（横浜市立大学）

共催：ミヤリサン製薬株式会社

学術セミナー2　第2会場　シーガイアコンベンションセンター　4F　天樹

食道癌・胃癌薬物療法の新展開 －外科治療との接点と今後の可能性－

座長：竹内　裕也（浜松医科大学外科学第二講座）

演者：佐伯　浩司（群馬大学大学院消化管外科）

共催：ビーワン・メディシンズ合同会社

学術セミナー3　第3会場　シーガイアコンベンションセンター　4F　天葉

座長：稲木　紀幸（金沢大学医薬保健研究域医学系消化管外科学／乳腺外科学）

演題1：ICI時代の胃癌治療における外科医の役割

演者：佐藤　　渉（横浜市立大学大学院医学研究科消化管外科学）

演題2：胃癌患者の予後改善を目指して ―外科医はニボルマブ＋SOX療法をどう活かすか―

演者：坊岡　英祐（浜松医科大学外科学第二講座／森町地域包括ケア講座）

共催：ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社／小野薬品工業株式会社

学術セミナー4　第4会場　シーガイアコンベンションセンター　4F　天蘭

平時と有事における感染性医療廃棄物 現状と今後

座長：眞瀬　智彦（岩手医科大学医学部救急・災害医学講座／岩手県高度救命救急センター／災害時地域医療支援教育センター）

演題1：平時の感染性廃棄物処理の取り組み

〜医療機関における感染性廃棄物処理の現状について〜

演者：藤井　貴文（北見赤十字病院／患者支援センター）

演題2：災害時の感染性廃棄物処理

演者：藤原　弘之（岩手医科大学医学部救急・災害医学講座）

共催：菱機工業株式会社

学術セミナー5　第10会場　シーガイアコンベンションセンター　3F　海峰

【大腸外科×AI】研究フェーズから「日常診療」へ

〜すべての臨床医に知ってほしいAI手術支援の現在地〜

座長：長谷川　傑（福岡大学医学部消化器外科）

演者：岡林　剛史（東海大学医学部消化器外科）

演者：賀川　弘康（東京科学大学消化管外科学分野）

共催：Direava株式会社（ディリーバ）

学術セミナー

1日目　11月26日（木）　12：40〜13：30

学術セミナー6　第15会場　シーガイアコンベンションセンター　２Ｆ　ジブラルタル

胃癌手術の内視鏡技術認定取得戦略 〜郭清と再建から学ぶ技術認定のポイントとその先の展望〜

座長：木下　敬弘（国立がん研究センター東病院）

演題１：郭清の輪郭 ― Tensionが描く胃癌郭清のSurgical Plane

演者：牛丸　裕貴（大阪国際がんセンター）

演題２：再建をデザインする ― Tensionが導く胃切除後再建のかたち

演者：赤川　　進（北九州市立医療センター）

共催：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

学術セミナー

２日目　11月27日（金）　12：30〜13：20

学術セミナー7　第１会場　シーガイアコンベンションセンター　４Ｆ　天瑞

アメリカにおける２つのバイオベンチャー立ち上げと IPO、FDA 承認取得の経験から日本でのバイオベンチャーの課題を提言したい

座長：大塚　隆生（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科外科学講座消化器外科学）

演者：永田　良一（株式会社新日本科学／メディポリス国際陽子線治療センター）

共催：株式会社新日本科学

学術セミナー8　第２会場　シーガイアコンベンションセンター　４Ｆ　天樹

外科医としての歩みと、いまの現在地 〜Next リーダーが語る成長のストーリーと手術手技〜

座長：川村純一郎（近畿大学病院）

演題１：技術を磨き、仲間と繋がる－大腸外科医の成長と挑戦

演者：山本　健人（京都大学医学部附属病院）

演題２：「手術がうまくなりたい」の先に見えてきたもの

演者：向井　俊貴（がん研究会有明病院）

共催：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

学術セミナー9　第３会場　シーガイアコンベンションセンター　４Ｆ　天葉

消化管再建術は、暗黙知を形式知へ

切離・吻合は“感覚”から“科学”へ

座長：絹笠　祐介（東京科学大学医学部消化管外科学分野）

演者：絹田　俊爾（竹田綜合病院外科）

演者：陳　　開（市立秋田総合病院消化器外科）

共催：コヴィディエンジャパン株式会社

学術セミナー10　第４会場　シーガイアコンベンションセンター　４Ｆ　天蘭

胃癌治療はどこまで変わるのか？ 〜外科医が知っておくべき最新の治療戦略〜

座長：比企　直樹（北里大学医学部上部消化管外科学）

演題１：CLDN陽性胃癌に対する治療戦略を考える〜リアルワールドと外科的介入〜

演者：有上　貴明（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科消化器外科学）

演題２：胃癌薬物療法の現状 ―VYLOY 登場後の治療アプローチ―

演者：細川　　歩（宮崎大学医学部附属病院臨床腫瘍科）

共催：アステラス製薬株式会社

学術セミナー11　第10会場　シーガイアコンベンションセンター　３Ｆ　海峰

U40ロボット世代の外科手術 〜私の大腸外科医としての歩みとダビンチ手術〜

座長：賀川　義規（大阪国際がんセンター）

演者：橋本　雅弘（大阪急性期・総合医療センター）

演者：藤森　大輔（厚生連高岡病院）

共催：インテュイティブサージカル合同会社

学術セミナー

２日目　11月27日（金）　12：30〜13：20

学術セミナー12　第12会場　シーガイアコンベンションセンター　２Ｆ　ファウンテンルーム

基本を極め、超えていく ―直腸癌低侵襲手術の真髄―

座長：塚本　俊輔（国立がん研究センター中央病院大腸外科）

演題１：基本の徹底と変化への対応

演者：山田和之介（宮崎大学医学部附属病院消化管・内分泌・小児外科）

演題２：ロボット直腸がん手術の基本とその先へ

―高難度症例への対応とロボット手術の新展開―

演者：真崎　純一（東京医科大学病院消化器外科・小児外科）

共催：株式会社プロシード

学術セミナー13　第14会場　シーガイアコンベンションセンター　２Ｆ　オーチャードルーム②

新たなバーブ糸を用いての縫合方法

座長：木村　　豊（近畿大学奈良病院）

演題１：胃癌手術の縫合をもっとシンプルに -新たなバーブドスーチャーが拓く再建手技-

演者：布部　創也（がん研有明病院）

演題２：クロソイド・バーブドスーチャーを用いたロボット胃がん手術

演者：大森　　健（大阪けいさつ病院）

共催：株式会社ベアーメディック

学術セミナー

３日目　11月28日（土）　12：35〜13：25

学術セミナー14　第１会場　シーガイアコンベンションセンター　４Ｆ　天瑞

鼠径部ヘルニア修復術の現在地 -前方アプローチからロボット手術まで-

座長：蜂須賀丈博（市立四日市病院）

演者：宮木祐一郎（聖隷浜松病院ヘルニアセンター）

演者：秋山　　岳（JA長野厚生連佐久医療センター消化器外科）

共催：コヴィディエンジャパン株式会社

学術セミナー15　第２会場　シーガイアコンベンションセンター　４Ｆ　天樹

オンコタイプDXが変える治療選択 ― 化学療法の省略、その先のValue ―

座長：山本　　豊（熊本大学病院乳腺・内分泌外科）

演者：久芳さやか（長崎大学病院乳腺・内分泌外科）

共催：エグザクトサイエンス株式会社

学術セミナー16　第３会場　シーガイアコンベンションセンター　４Ｆ　天葉

座長：小嶋　一幸（獨協医科大学上部消化管外科）

演題１：Maximize Efficacy, Minimize Treatment Burden – 進行胃癌治療の新展開

演者：柳本　喜智（大阪国際がんセンター消化器外科）

演題２：胃癌に対する周術期補助化学療法の現況と課題

演者：岩槻　政晃（熊本大学大学院生命科学研究部消化器外科学）

共催：MSD株式会社

学術セミナー17　第４会場　シーガイアコンベンションセンター　４Ｆ　天蘭

医療削減は、手術室から始まる

〜大腸外科における手術機器選択と医療コストの最適化〜

座長：藤田　文彦（久留米大学）

演題１：よいDSTはFireする前から決まっている　　演者：山田和之介（宮崎大学）

演題２：よいDSTとは -新たなデバイス選択の可能性-　　演者：大地　貴史（久留米大学）

共催：エム・シー・メディカル株式会社

学術ミニセミナー

1日目　11月26日（木）　14：50〜15：20

学術ミニセミナー1　第10会場　シーガイアコンベンションセンター　３Ｆ　海峰

交互作用解析からみる進行肝細胞癌に対する一次治療薬剤別の追加インターベンションの意義

座長：赤須郁太郎（延岡共立病院／延岡市医師会）

演者：進藤　潤一（虎の門病院消化器外科）

共催：エーザイ株式会社

1日目　11月26日（木）　16：40〜17：10

学術ミニセミナー2　第10会場　シーガイアコンベンションセンター　３Ｆ　海峰

腹腔鏡下肝・膵臓切除術における最適解の探求

〜新型フレキシブルスコープは我々に何を見せるか〜

座長：伴　　大輔（東京科学大学肝胆膵外科学分野）

演者：川本　裕介（東京女子医科大学消化器病センター外科）

共催：オリンパスマーケティング株式会社

学術ミニセミナー

２日目　11月27日（金）　10：35〜11：05

学術ミニセミナー3　第10会場　シーガイアコンベンションセンター　３Ｆ　海峰

聞いてみたかった、その先のこと。 －先輩外科医が語る手術とキャリアと研究と

座長：長谷川芙美（東京北医療センター）

演者：増田　大機（武蔵野赤十字病院）

共催：AEGIS-Women／ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

２日目　11月27日（金）　15：15〜15：45

学術ミニセミナー4　第10会場　シーガイアコンベンションセンター　３Ｆ　海峰

当院における急性Ａ型大動脈解離手術の成績と治療方針の変遷

-Malperfusion戦略・送血部位の最適化・確実な止血法-

座長：押富　　隆（社会福祉法人恩賜財団済生会熊本病院心臓血管外科）

演者：中村　栄作（宮崎県立宮崎病院心臓血管外科）

共催：バクスター・ジャパン株式会社

スポンサードシンポジウム

３日目　11月28日（土）　13：35～15：05

スポンサードシンポジウム　第６会場　シーガイアコンベンションセンター　４Ｆ　アイボリールーム

高難度消化器ロボット手術のこれから －運用と集約のかたち－

座長：若林　　剛（上尾中央総合病院外科）

演者：藤川　貴久（小倉記念病院外科）

演者：佐川　弘之（名古屋市立大学大学院医学研究科消化器外科学）

演者：稲田　　涼（高知医療センター消化器外科・一般外科）

共催：テルモ株式会社

学術ハンズオンセミナー

２日目　11月27日（金）　9：30〜12：00

学術ハンズオンセミナー1（学術集会特別企画）
ハンズオン会場　シーガイアコンベンションセンター　２Ｆ　アトリウム

TAPP法のエッセンスを学ぶ！ 〜手術手技の基本とTips〜

座長：進　　誠也（光晴病院外科）
講師：三田　一仁（津田沼中央総合病院外科）
講師：若林　正和（相模原協同病院外科）
共催：コヴィディエンジャパン株式会社

２日目　11月27日（金）　16：30〜18：30

学術ハンズオンセミナー2　ハンズオン会場　シーガイアコンベンションセンター　２Ｆ　アトリウム

TAPP法・リヒテンシュタイン法ハンズオンセミナー
術式の理解から適正なデバイス使用まで学ぶ

講師：諏訪　勝仁（東京慈恵会医科大学西部医療センター）
講師：進　　誠也（光晴会病院）
講師：辛島　龍一（済生会熊本病院）
講師：林　　知実（霧島市立医師会医療センター）
共催：株式会社メディコン

学術ハンズオンセミナー

３日目　11月28日（土）　9：00～12：00

学術ハンズオンセミナー3（学術集会特別企画）
ハンズオン会場　シーガイアコンベンションセンター　２Ｆ　アトリウム

座長：佐久間研人（L&Kメディカルアートクリエイターズ株式会社）
講師：佳　　風（L&Kメディカルアートクリエイターズ株式会社）
共催：L&Kメディカルアートクリエイターズ株式会社

第36回外科漢方フォーラム学術集会

日時：2026年11月27日（金） 15：15〜18：24
テーマ：外科診療の支持療法としての漢方の活用
開催形態：共催　第88回日本臨床外科学会学術集会／株式会社ツムラ
会場：シーガイアコンベンションセンター　3F　瑞洋

1　開会の辞　15：15〜15：18

土岐祐一郎（大阪急性期・総合医療センター／第36回外科漢方フォーラム学術集会 当番世話人）

2　基調講演　15：18〜15：33

演題：周術期口腔機能管理における漢方薬の可能性
座長：土岐祐一郎（大阪急性期・総合医療センター／第36回外科漢方フォーラム学術集会 当番世話人）
最上　祥子（株式会社ツムラ研究開発本部ツムラ漢方研究所）

3　ワークショップ1：腸管機能・排液・排便管理　15：33〜16：03

座長：石原聡一郎（東京大学／外科漢方フォーラム世話人）
藤田　文彦（久留米大学／外科漢方フォーラム世話人）

1-1
Covering ileostomyにおけるHigh output syndromeに対する五苓散の効果についての検討
筋野　博喜（東京医科大学病院消化器外科・小児外科）

1-2
潰瘍性大腸炎術後High-Output Syndromeの予測因子と柴苓湯使用例の検討
門野　政義（慶應義塾大学医学部外科学教室（一般・消化器））

1-3
長域型ヒルシュスプルング病症例における柴苓湯の使用経験
星　　玲奈（日本大学医学部外科学系小児外科学分野）

1-4
大腸ステント留置症例における術前管理と桃核承気湯使用例の検討
御井　保彦（北播磨総合医療センター外科）

1-5
腸管不全に対する漢方薬の効用―腸管リハビリテーションを支える補完的治療戦略―
上原秀一郎（日本大学医学部外科学系小児外科学分野）

4　ワークショップ2：術後回復・消化機能・栄養管理　16：03〜16：39

座長：竹内　裕也（浜松医科大学／外科漢方フォーラム　世話人）
瀧口　修司（名古屋市立大学／外科漢方フォーラム　世話人）

2-1
幽門側胃切除術後患者に対する六君子湯投与の有用性の検討
横田啓一郎（高知大学外科学講座消化器外科）

2-2
膵体尾部切除後周術期管理における六君子湯投与の有用性
傳田　悠貴（名古屋市立大学消化器外科）

2-3
肝切除術後、周術期療法としての大建中湯投与下における術後イレウスの検討
伊勢田憲史（九州大学大学院消化器・総合外科）

2-4
膵癌に対する膵頭十二指腸切除における六君子湯の周術期投与実態と短期成績への影響
和田　雅孝（北海道大学消化器外科Ⅱ）

2-5
結腸憩室症手術症例に対する大建中湯の選択的使用経験とその有用性の検討
花岡　　裕（虎の門病院消化器外科）

2-6
術後六君子湯・大建中湯・プロバイオティクス療法はロボット支援下膵頭十二指腸切除術後の消化管合併症を低減しうるか？
栗山　直久（三重大学肝胆膵・移植外科）

5　ワークショップ３：化学療法支持療法・有害事象・QOL　16：44～17：14

座長：江口　英利（大阪大学／外科漢方フォーラム　世話人）
吉住　朋晴（九州大学／外科漢方フォーラム　常任世話人）

3-1
全身化学療法によって惹起される末梢神経障害に対する牛車腎気丸投与の検討
石塚　　満（獨協医科大学下部消化管外科）

3-2
食道癌DCF併用化学放射線療法における人参養栄湯の支持療法としての有用性
田中　晃司（大阪大学大学院消化器外科）

3-3
食道癌術前化学療法における支持療法としての半夏瀉心湯：治療継続性に着目して
林　　祥平（名古屋市立大学大学院医学研究科消化器外科学）

3-4
胃癌化学療法におけるオキサリプラチン誘発末梢神経障害例への漢方薬の使用経験
岩崎　謙一（国際医療福祉大学市川総合病院消化器外科）

3-5
肺がん化学療法関連食欲不振に対する六君子湯の効果：プラセボ対照二重盲検無作為比較試験
岡部　直行（福島県立医科大学呼吸器外科学講座）

6　ワークショップ４：周術期全身管理　17：14～17：44

座長：鈴木　弘行（福島県立医科大学／外科漢方フォーラム　世話人）
青木　武士（昭和医科大学／外科漢方フォーラム　世話人）

4-1
食道癌術後におけるラメルテオンならびに漢方薬投与とせん妄発現に関する検討
平瀬　雄規（鹿児島厚生連病院消化器外科）

4-2
肝胆膵外科周術期支持療法としての抑肝散・抑肝散加陳皮半夏の活用
本庄　真彦（兵庫県立尼崎総合医療センター外科・消化器外科）

4-3
人参養栄湯（TJ-108）による食道癌周術期悪液質患者の後ろ向き検討
小澤　洋平（東北大学大学院医学系研究科消化器外科学分野）

4-4
漢方薬を用いた高齢者消化器癌術後せん妄のランダム化比較試験
本告　正明（大阪急性期・総合医療センター）

4-5
心臓血管外科周術期における漢方
秦　　広樹（徳島大学心臓血管外科）

7　ワークショップ5：外科漢方のエビデンスと展望　17：47〜18：17

座長：平野　　聡（北海道大学／外科漢方フォーラム　世話人）
長谷川　潔（東京大学／外科漢方フォーラム　世話人）

5-1
外科漢方製剤をどう選ぶか―製剤差異・供給不安・経済毒性とエビデンスに基づく選択の論理―
蜂谷　陽介（湘南鎌倉総合病院外科）

5-2
大建中湯（TU-100）がmetabolic surgery術後早期に及ぼす影響に関する研究
柏原　秀也（徳島大学消化器・移植外科）

5-3
NDBオープンデータからみた外科領域漢方薬処方動向と最新エビデンスの統合的考察
伊藤　慎吾（湘南鎌倉総合病院外科）

5-4
大腸癌患者に対する補中益気湯投与がQOL・自己効力感・日常諸活動に及ぼす影響に関する観察研究
吉田　　雅（北海道大学病院消化器外科Ⅰ）

5-5
六君子湯の投与効果の検討-マイクロバイオームとメタボロミクス解析より
河野　　寛（山梨大学医学部附属病院東部地域医療教育センター）

8　総括発言　18：17〜18：22

島田　光生（徳島大学／外科漢方フォーラム代表世話人）

9　閉会の辞　18：22〜18：24

土岐　祐一郎（大阪急性期・総合医療センター／第36回外科漢方フォーラム学術集会 当番世話人）